第 4 回はたらく部会会議録

日　　時	2015 年 11 月 16 日（月）13：00～15：00
場　　所	地域連携交流施設 2 階　会議室
テ　ー　マ	1、本日参加メンバー 2、協議課題 3、その他 4、次回開催日について
内　　容	1、参加メンバー：7 名 ・「いままで訪れた場所でお勧めのスポット」と自己紹介 2、協議課題 ○「エスコアハーツ見学会」について　参加者 25 名　アンケート結果あり 見学会の報告 ・以前行った時より作業が少ない印象だった ・見学時の説明の中で出た「重度」は雇用の判定であるので、療育手帳の判定とは違う ・作業が出来るより、社会性（挨拶・周りとのコミュニケーション・休まない）などのお話が多く、保護者によかったのではないか ・保護者にとって「はたらく」という姿を直接見れて、いい機会になったのではないか ・参加人数も、ちょうどよかった。 ・見学の場までの移動について、事前説明があったほうがいい ・バスの利用など考えて、早めに参加募集してもいいのではないか 来年度の見学先について ・まとまった人数を受け入れる事業所はむずかしい ・東はりま特別支援学校では高校 1 年で、はぐるま・能力開発課・高等技術専門学院の見学を行っている ・「ワークプロジェクトにし」はどうか。8 月後半から忙しくされているので、夏休み前までがいいのではないか ・1 学期の 6 月中旬～下旬あたりに見学会を計画してはどうか →日程・受け入れ人数・駐車場台数を、東はりま特別支援学校が確認 →バスの使用が可能か、福祉グループが確認 ○正しい情報の伝達について ▽就労の流れ（ハローワーク・福祉グループ案）についての検討 対象：新卒ではなく、途中で就労に迷った人 説明 ・以前作ったフローチャートの半分を使った。説明文は省いている ・施設に相談に行くのに抵抗を感じる方は加古川「ふらっと」から、つながる人も多い ・福祉部分は、「はたらく」を広く捉えて案を作成した ・福祉部分の説明文は、対象条件が厳しくなっているのであえて明記した 意見 ・「ふらっと」をのせたほうがいい ・人材チェックの後の矢印は、一つにまとめてはどうか ・現在Ａ型で働き始めるための取り扱いは地域性がありバラバラである

・福祉の方に相談事業者があったほうがいい
・播磨町役場に申請は説明文ではなく、箇条書きで明記してはどうか
・就業継続支援Ｂ型は 50 歳以上とあるが、上限はないのか
→上限の規定はないと思うが、希望された例がない
・福祉サービスから就労につながっていくイメージにしてはどうか
・精神科デイケアは、どんな人がいくのか？手続きが必要ではないか
→福祉グループが確認

・本人の同意の上で、個人情報を含めた就労の支援が必要

まとめ

・「ふらっと」を明記
・役場へ申請が要・不要が分かるように明記
・相談事業所を福祉の方には加える

3、その他

○そだつ部会：「かけはし CAFE」1 月 17 日（日）10：00～
2 月 10 日（水）10：00～
「支援をつなぐ」1 月 20 日（水）10：00～

○推進会議・全体会：第 2 回全体研修会　平成 28 年 2 月 26 日（金）10：30～
内容：障がいのある人も歳を重ねる
障害者の高齢化とその対応について
講師：関西福祉大学　谷口泰司准教授
場所：播磨町役場 3 階ＡＢＣ会議室

4、次回開催日について

平成 28 年 1 月 13 日（水）10：00～　地域連携交流施設